

記念企画

大同学園創立50周年

大同学園

大同工業大学
〒457 名古屋市南区大同町2-21
TEL (052) 612-6111(代)
編集 大同工業大学
企画 広報室

主な記事

学園創立五十周年・学長インタビュー	21面
五十周年記念事業進行状況	2面
卒業式・入学式・大学祭	3面
平成元年度・行事日程	3面
それぞれの国際交流	4面
父のみなさんへ	4面
シリーズ・厚生施設めぐり	4面
学術・地盤材料について	5面
弓道場完成	5面
平成元年度・人事	6面
新任者の紹介	6面

学長インタビュー

昭和十四年創立以来、五十周年を迎えた大同学園の歴史はまさに中部地区の産業界と共に歩んできた歴史といえるだろう。本年はまた、大同工業大学二十五周年でもある記念すべき年である。振り返れば、情報処理センター、材料科学技術研究所、さらに本年九月開館の新図書館建設など施設・設備の拡張、また現代化教育の一翼である情報処理教育・アメリカ・オレゴン大学を始めとする海外姉妹提携校との国際交流など、本学は当地域のリーディング校としての役割を担ってきた。今回は、そうした本学の軌跡、その根底に流れる建学の精神、さらには二十一世紀へ開かれた学園を目指す大同学園・大同工大のビジョンに迫ってみたい。

二十一世紀へかける 国際化、情報化のビジョン

中部新国際空港の建設と、それに伴う関連産業の進出が予想される当地域において、時代を先見する技術者育成と共に産業界のシンク・タンクと目される本学の役割は、ますます重要になるだろう。学園創立五十周年を機に、建学の精神に立ち返ると共に、二十一世紀にかけける意気込みを藤原学長に伺ってみたい。

豊かな創造性をバックアップする 環境整備の推進を図りながら

情報化時代に伴って備

学長 大学とは、研究と教育

の場であるというのが元来の理念なんだけど、二十一世紀を間近に迎える今日では「真理の探究」とともに、新たな付加価値が必要とされていることは確かですね。

現在は、学べき分野が広がり、その一方で専門の専門化が進展しています。そんな中、今こそ根源的な「人間の探究」が必要とされているのではないのでしょうか。多種多様な大量情報があふれる現代にあって、状況の変化に対応できる人間であることはもちろんのこと、未来に向けて創造性豊かな人間の育成が大

切であると考えています。そのために、教職員に対する期待も大きいですね。豊富な学識経験と実務経験をもった人間味と熱意に満ちた教授陣、絶えず学業をバックアップする職員の充実。

また、次代を担う魅力ある人材を養成するための大学院の開設など、これら環境整備も大切な大学教育の一端です。

実学の精神に沿った ソフト&ハードの充実

「建学の精神」に流れる本学の特質を、五十周年を機に振り返りたいと思います。学長 本学の特質は極めて明快で、実学教育の一環に尽きますね。元来本学は、「産学」と密接な関係を持ち、「産学協同」の精神をもとに創立された大学ですから、大学にないが、産業界の情勢に精通でき、常に最先端技術を手中にとり、最新の研究ができるわけですね。

本学の重要な使命の一つに、実社会で活躍できる技術者を養成することがあげられます。今年十周年を迎える「材料科

学技術研究所」は、実用化に重点をおく産学協同研究を目的にしています。また、情報化教育の重要性をいち早く察知し、昭和四十八年に「情報処理センター」を設立。情報化社会における科学技術の方向づけと転換がスムーズに実践され、多様なニーズに対応できたと思っています。

国際社会に呼応する グローバルなキャンパスをめざして

新図書館の建設が着工されましたが、今後の本学の発展を、

学長 新図書館の建設は長年の夢でした。図書館というのは、大学の顔、シンボルです



平成元年6月完成をめざし、姿を見せ始めた新図書館

春夏秋冬

科学技術の発達と共に季節感がだんだん失われて行く。どんな野菜や果物も年中手に入るし、冬でも半袖ですごせる。晴耕雨読という言葉も、もつ過去のものとなった。最近雨もあまり見かけないし、雨の日でも傘を持たずに外出する者も多い。

今世紀のはじめに雨を降らす技術が開発された。気球にダイナマイトを横断上空で爆発させるというものが、実用にはならなかった。雨を止める技術についてはまだ耳にしないが、アーケードを造り、地下道を掘り、渋滞の中を車で行くといった、雨にぬれないことだけのために多くの努力を払っているのを見る。この技術の開発に大金をかけたのはどうしたことか。仏教に安居（あんこ）という言葉がある。サンスクリットで雨期という語から由来し、昔、インドで修行僧たちが春から夏にかけての雨期に外出を禁足させ、ひたすら修行に専心すると言った。

また、これは雨期の外出で草木や小虫を知らず知らずのうちに踏み殺すことを恐れたからともいわれる。そこには自然の真理を悟覚し、あらゆる生命をいっしょに守る心がある。人生にはまた、心の雨期もある。自然の雨は避けることができて心の雨は避けられない。ところがまわすきまっただで巡って。あわてずあせらず、外への活動をひかえ、目を自己の内に向けて。こころは若葉を育て、秋の実りをもたらす。飛躍と発展は深い自然への畏敬と生命への配慮を欠く時、技術の進歩発展はあくなく自己の欲望のためにのみ走りがちである。

地球をまわり、平和共存の世界を可能にする技術でありたいものだ。

創立五十周年 記念事業進行状況

本年が大同学園の創立五十周年にあたることはすでにご承知のことと思います。記念事業の大綱は、昨年のちょうどこの時期に発行した本紙で紹介済みではありますが、おそろく多くの方々はこの記憶に薄いことと思いますので、重複をいとわずに記念事業の進み具合や、その後具体化してきた内容をご紹介します。

建設事業

建設・設備関係としては、三つのものが計画され、すでに順調に進行しています。

①大学図書館の建設

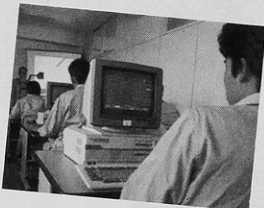
滝春校舎に総予算十二億円をかけて建設中です。昨年六月の工事着工以来順調に推移し、この新聞が発行される頃には、その美しい姿が初夏の日に映えていることでしょう。

②高校知多分校校舎の新築

すでに昨年四月に工事に着手し、総工費六億円をかけて十一月には完成しました。

り、卒業生の皆さんにも積極的に活用していただきたいと思っています。

③高校の実験実習機器の現代化



現代化された高校の実験実習機器



大同高校知多分校記念パーティ

近年、高校はカリキュラムの現代化に取り組んでいます。その柱をなすのが、実験実習機器の整備です。すでに昭和六十二年には、パソコン台数では高校日本一に達し、現在は一九〇台が活躍中です。また、特色あるコンピュータ・グラフィック教育で世間の注目を浴びています。平成二年度までの五カ年計画で二億円を投入して、機器の現代化を推進し、コンピュータ教育の大同を目指します。

③記念講演会

創立五十周年を記念して、九月十六日(月)、ロボット博士で有名な森政弘先生(株式会社自在研究所長・東京工業大学名誉教授)をお招きして、科学技術と人間の係わりについて講演会を行います。今回の記念講演会は、広く学内外を対象として行われます。もちろん学園関係者・学生・生徒の聴講も歓迎です。聴講希望者は入場整理券が発行されることになると思います。希望者は必ず申し込みをして下さい。

記念式典など

①記念式典

十月四日(水)、ホテルナゴヤキャッスルにおいて、各界から約七〇〇名を招待して記念式典が行われることが決まりました。教職員・学生・生徒の代表も出席することになっています。

また、教職員に対しては、五十周年を共に祝うパーティ

学園五十年史の発行

現在、五十年史の編集がすすめられています。学園はすでに昭和四十四年に文章を中心に「大同学園四十年史」を出していますが、今度のものは写真集であることが特徴です。昭和十四年の学園創立から四十年間は白黒写真、昭和五十四年以降はカラー写真の姿は美しいカラー写真になります。全体では一六〇ページ程度になる予定です。楽しみにしてほしいと思います。

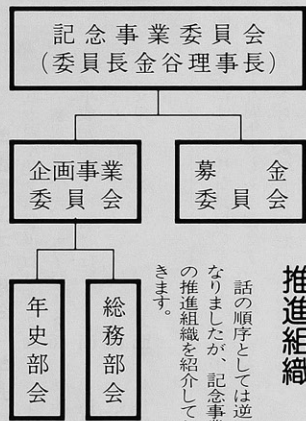
募金状況

今回の記念事業は総額一億一千万円の規模で展開されていますが、そのうち八億円を寄付金でまかないたいと思ひ、昨年から募金活動を展開してきました。これは、大学、高校の後援会、PTA、同窓会あるいは会社関係など、多くの方々のお世話になっております。

すでに多くの方々のご好意により、この四月十五日時点で六億六千万円の寄付申し込みをいただきました(目標額に少し足りません)。募金期間は来年七月までですが、さらに多くの方々の申し出をお願いします。そして、是非一〇〇%を達成したいものです。

推進組織

話の順序としては逆になりましたが、記念事業の推進組織を紹介しておきます。



写真で見る 大同学園50年の1コマ (その2)

大学の草創期から10年間における3枚の写真を選んでみた。

大学の新築校舎 第1号の完成



昭和四十一年待望の本館1号館完成

学園創立五十周年特集



熱気の立ちこめた 大学祭のコンサート

ボート部 関西選手権に3連勝を飾る

毎年五月になると新聞各紙は本学の大学祭を報じて、この地域に大学祭の季節が到来したことを告げる。今年もその季節になった。

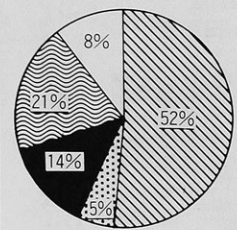
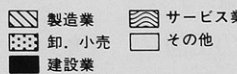
右下の写真は今年から十五年ほど前、昭和四十年代の後半の大学祭のコンサートの観客席である。人々々々、顔々々の盛況、若者のエネルギーを感じさせる。手前にはバンド・メンバーの姿が写っている。昭和四十年代にはフォーク・ソングがはやった。人気のでる前の「あのねのね」を呼んだのもこの当時のことである。

当時は、まだ開学以来の機械と電気は二学科だけであり(建設は五十年、応用電子は六十年開設)学生数は定員の倍もいたとはいえず、今よりかなり少なく、それを考えればかなりな動員力だったといえる。



ボート部 関西選手権に3連勝を飾る

昭和63年度 就職状況(職種別)



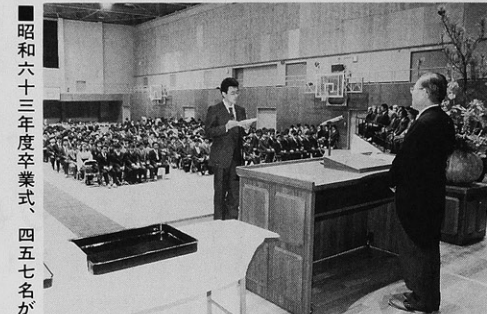
暖冬による桜の開花に歩調を合わせるように四月に入ると求人企業の来学が多くなった。例年よりも早く、またその数も増えている。四年次の学生諸君は就職試験の時期が到来した。自分の人生を如何に生きるべきかを決定する時である。この人生の重大事に対して父母や指導

就職

本年も売手市場続く
早期の準備と積極的な行動を

「就職指導重点対策」
① 優れた企業への就職率の増加
② 上場企業への就職率の増加
③ 公務員への就職率の増加
④ 求人票の迅速公開

【六十三年度の就職状況】
六十三年度は「ひのえうま」の年による少ない学生数に對し、企業の採用意欲が高まり「売り手市場」という言葉がよく報道された。



フラッシュバック

卒業式

卒業生は四五七名。式場に次々入って来る卒業生の男性はほとんどがスーツ姿。女性にはあでやかな服装で卒業式に花を添える。

桜散る日に
新たな出発
平成元年年度の入学式は四月十日午前十時から体育館にて七〇八名の新生を迎えて挙行された。

入学式
平成元年年度の入学式は四月十日午前十時から体育館にて七〇八名の新生を迎えて挙行された。



輝く希望！
新入生708名
「新しいスーツに身を包んで、真実に聞き入る新入生」

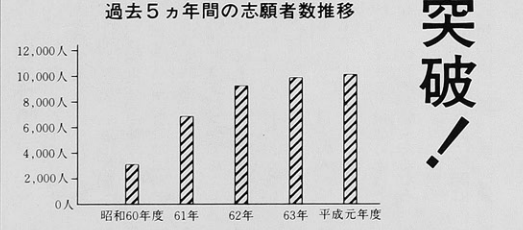
目標としています。教授たちから学ぶことの大切さを如何に教えられるか、諸君が自主的に学ぶことを身につければ、教授の努力も無駄になります。創造力を育てるには自主的に学ぶ態度を身に付けねばなら

入試

本年度の入試は、国公立大の分離分割方式導入による「国立大分離」、進学希望者の増加、入試改革による受験生の安心志向の高まり等により、全体的に難化傾向の中で志願者が一万人を突破したことは、記念すべきことである。

【志願者状況】
全体で前年比約二一増の一〇、〇四〇

【競争率状況】
実質競争率は約六倍で前年とは同じであった。推薦・特別奨励生試験においては前年よりアップし

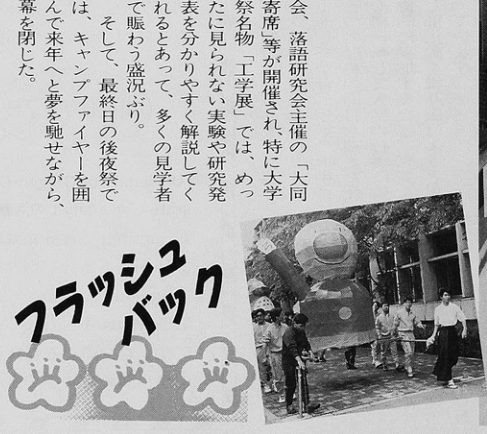


平成元年度 学科別入学試験結果

学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率
機 械 工 学 科	180	2,946	2,871	502	5.7
電 気 工 学 科	120	1,704	1,662	355	4.7
建 設 土 木 工 学 専 攻	80	1,662	1,621	212	7.6
工 学 科 建 築 学 専 攻	80	1,857	1,806	222	8.1
応 用 電 子 工 学 科	100	1,871	1,822	326	5.6
計	560	10,040	9,782	1,617	6.0

【第二十四回 大学祭】
毎年、学生と教職員はもちろん、大勢の地元の方を迎え賑やかに繰り広げられる「大学祭」。二十四回を数える本年も、十三日土曜日の前夜祭を皮切りに「二十一日」まで大いに盛り上がった九日間だった。

【大学祭】
毎年、学生と教職員はもちろん、大勢の地元の方を迎え賑やかに繰り広げられる「大学祭」。二十四回を数える本年も、十三日土曜日の前夜祭を皮切りに「二十一日」まで大いに盛り上がった九日間だった。



行事日程

平成元年度

夏季休業は 七月二日から

行事日程

四月 5-8 在学生ガイダンス
健康診断・受講票受
付
春季休業終了
入学式・新入生歓迎
会
開講(二年以上)
11-13 新入生ガイダンス
健康診断・諸手続
受講票受付
開講(一年生)
日本育英会出願説明
会
新入生歓迎合同ハイ
キング
五月 スポーツ祭
六月 1 奨学生学力試験
2 開講
3-7 夏季休業開始
7-30 アメリカ短期留学
27-31 事務窓口休止
八月 24-25 事務窓口休止
28-31 リターンスキャン
九月 1 開講
16-26 前期試験期間
21 新図書館披露
27-29 予備試験期間
27-30 後期受講票受付期間
十月 3-4 前期追・特追・再試
受付期間
5-9 周年記念式典
5-9 前期追・特追・再試
期間
後期開講
日本育英会出願説明
会
11-11 体育大会
十二月 9 クリスマスパーティ
20 閉講
21-26 冬季休業開始
21-26 冬季補講期間
26 卒業式
26 後期追・特追・再試
期間
春季休業開始

進学

シリーズ

厚生施設めぐり

1

衛生的な厨房設備をはじめとして、冷暖房の空調が完備されている。総席数は二〇〇席、食費販売はすべて自動販売機で、スムーズに注文が受けられるようになっている。

営業時間は昼の部が午前十一時三〇分から午後二時まで、夜の部は午後四時から午後七時三〇分まで。特に、夜の部はクラブ活動を終えた学生や下宿生に大受欢迎である。

一日平均で六百食出るといはい、人気メニューは「定食食カレー」とのこと。また気にならぬ衛生面だが、これも心配ない。毎年名古屋市食品衛生協会南部より、「食品衛生の向

進春校舎
学生食堂

学術

地盤材料(土質安定材料)について

建設工学科教授 三 瀬 貞

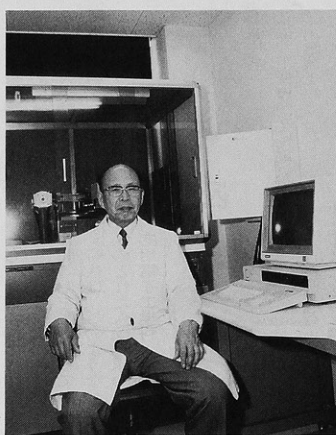
中部新国際空港など
巨大プロジェクトの
すべてに関わる

土木関係の施設や構造物の
多くは、海洋構造物をも含め
て、従来の地盤(岩盤、土
や地盤中に築造されてきた。
巨大プロジェクトである青
函トンネル、本四架橋、東
部新国際空港等を含むウー
ドフロントの問題や大深度地
下構造物(チオフロント)あ
るいは最近よく話題にな
つてきたリニアモーターカー
等の問題は、すべて地盤や土
質基礎構造物と大きくかか
つていものである。

この地盤あるいは土質は、
複雑な酸塩基化合物を
主体とした土粒子と土粒子間
隙に存在する水と空気とから
構成される三相・固相・液相
・気相・共存のシステムであ
る。

地盤が硬くて構造物を十分
支持できる場合はよいが、そ
うでないとき、特に軟弱地盤
の場合は、これを改良したり

補強したりしなければなら
ない。土粒子は、粉粒体である
ので、これを強固にするため
には、高密度にしたり、相互
に結合したりする必要がある。
砂地盤の場合は、振動や衝撃
を加えることで比較的容易に
強固にすることができ、



三瀬 貞 建設工学科教授

粘土質地盤の場合は、特別な
方法で脱水したり、空隙を充
填したり、あるいは土粒子相
互を接着材でくっつけたりし
なければならぬ。粘土は、
コロイド状態になる場合が多
いので、その強化のためには
かなり高度の物理学・化学生
物理学・鉱物学等の知識が必要
であるが、それに加えて、土
木構造物は、道路、ダム、河川

堤防、海岸埋立地等のように
長大であり、巨大であるので
これらの構築や改良等に使用
される材料は、何よりも安価
でないと全体の工費が膨大
な金額となり、いかに立派な
構想であつても経済的に実現
できないことになる。

現在注目浴びる
軽量盛土工法を昭和
四十五年に特許申請

昭和四十五年頃から筆者は、
大阪や堺の臨海工業地帯の埋
立地で歩くこともできない沼

地のような超軟弱地盤の改良
を研究していたが、そのとき
発泡スチロール等の軽量を
敷きつめて、その上に盛土す
る方法を考案し、大規模な試
験施工を行ない良好な結果を
得たので、昭和四十五年に日
本特許を取った。ただこの当
時は、土地の値段も安かった
ので、結局この工法は経済的
な理由で実用化されなかった。
その後直に大学紛争で中断し
ていたが、筆者の指導して
いた会社がこれを改良して
「ケミドレイン工法」とい
うと実用化した。現在これ
にスウェーデンでは、この工
法が実際に大規模に使われ始
め、その後日本でも筆者の特
許の期限切れの昭和四十六年
頃から多用されるようになった。
軽量盛土工法等の名称は現在
注目を浴びている新工法にな
つてい。

最近では、鉄筋コンクリー
トやファイバーコンクリート
に似た土の強化工法が研究開
発され、各種の地中掘削工法、
土留め工法、盛土工法、トン
ネル工法等が、それこそ目ま
ぐるしいまでに開発され
てきている。

経済上の理由で実用化にまで
至らなかった。これも大学紛
争で特許どころでないうちに
他の会社が改良し、折から起
つたドロの公害問題で、そ
の具体的な解決方法として実用
化されていった。

安全に、安価に、
短期間に、良好な
環境下で施工へ――
古くは丹那トンネル、関門
トンネル、近くは黒四ダム、閘
門の湧水、漏水で苦勞した難工
事が、水と土を結合して瞬時に
り、逆に硬直したりする各種
薬液注入工法等の開発、改良
により、湧水を自由にコント
ロールできるようになり、青
函トンネルのような大規模な
海底地盤の掘削が容易になつ
た。

自動化、省力化、システム化、ロボット化へ日進月歩の改良

新日本製鉄埋立地で
成功した「ケミカル
ドレイン工法」開発
この工法と同じ頃、ポー

ラムの先端に配置する。
三、繰り返し回数が多いF
OR文は使用しない。
四、キー入力と画面処理に
同期性を持たせるにはINK
EYの空読みが有効。
七、半角外字の画面表示は
条件、ラメーターを伴った全

学位取得
おめでとうございます。
機械工学科
杉浦 正勝助教
学位論文
二次元および三次元物体の
動的応力の評価に関する基
礎的研究
提出先 名古屋大学
取得学位 工学博士
(二月二十八日付)

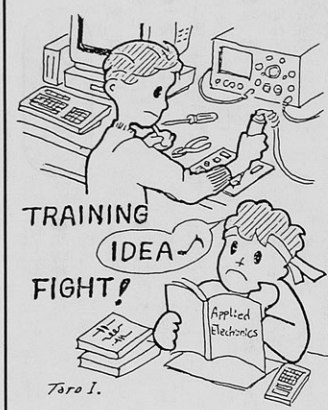
学位論文
Martin boundaries of
Denjoy domains and
quasiconformal
mappings
(タンジヨウ領域のマルチン
境界と擬正角写像)
提出先 京都大学
取得学位 理学博士
(三月三日付)

表彰

去る三月三十一日、金谷
理事長から、丸太運輸代行
サービス株式会社職員・岡崎夫
氏に表彰状と記念品が贈呈
された。
これは、氏が多年にわた
り自ら率先して本学の環境

元浜第2グラウンドに
……弓道場完成

今年四月、本学の元浜第
二グラウンドに弓道場が完成
した。この弓道場は洋弓と
和弓の兼用で、和弓は鉄骨
造一階建(床面積五三・四
六㎡)の和弓道場をもち、
的は取り外しができるよう
になっている。一方洋弓の
練習場は最大七十mまで射
ることができる。



応用電子工学は今年第一
回卒業生を社会に送り出し
ました。本学科は全国でも数
少ないこともあり、なぜ応用
がつくのかという問いにも何
れ応えてくれるものと信ま
す。「応用」が冠された意味
の「応用能力」をもつ柔軟
な頭脳の電子技術者の育成
が目的です。

研究室訪問 4

数学教室

簡易ワープロをBASIC
で作成する場合の初等的な問
題点をいくつか紹介したい。
98VMとPR12001Hを
使用。
一、「座標の処理」を防ぐ
ため文字配列変数の使用には
注意を要する。
二、頻繁に参照するラベル
は検索時間短縮のためプログ
ラムの先頭に配置する。
三、繰り返し回数の多いF
OR文は使用しない。
四、キー入力と画面処理に
同期性を持たせるにはINK
EYの空読みが有効。
七、半角外字の画面表示は
条件、ラメーターを伴った全

BASICの
有効利用

十二、作成されたプログラ
ムをファイルコンパイルして
DOS・BASICに変換す
る場合、全角文字コード出力
のPRINT文はコード修正
が必要となる。テキストヴィ
エワーを直接アクセスして画
面表示を行う場合は右記の修
正は不要である。

学科紹介 4
応用電子工学科

電子が関与する現象や法則に
基づく考案と具現化、装置の
生産と応用システムの運用ま
で包含したもので、いわゆる
電子工学の基礎理論
修得へという教育手法の実現
への願望からです。
元来、電子工学は一九三二
年電気学会編「電子工学の理
論と応用」にも見られるよう
に、その基明けより理論と応
用が表裏一体となり発展して
きました。広義の電子工学は

なぜ「応用」がつくのか…

と応用能力が必要である。
つきに、広汎な電子工業分
野に対処する技術的教育法と
しては、一般的には基礎科
学をしっかりと修得させるか
ないと言われますが、前述の願
望の二つは電子工学勉学を目
指す学生に、応用面から個々
の授業科目(一般教育を含め
基礎科目)への興味と認識を
深めさせ、自主的、意欲的勉
学をさせたいと言っています。
因みに本学科の学科目標は
半導体・材料・薄膜・IC
他、電子回路・電子計算機
(回路応用・マイコン・計算
機他)、電磁波とその制御、
マイクロ波、赤外応用、通信
プラズマ他、電子応用(電
子ビーム蒸発、超電導、誘電
体材料他)の四部門に関連研
究を通じて応用能力、独創力
養成のための指導に当つてい
ます。

助教 多田俊政

今年四月、本学の元浜第
二グラウンドに弓道場が完成
した。この弓道場は洋弓と
和弓の兼用で、和弓は鉄骨
造一階建(床面積五三・四
六㎡)の和弓道場をもち、
的は取り外しができるよう
になっている。一方洋弓の
練習場は最大七十mまで射
ることができる。

